

ぶどうの樹

2021.11

NO.

29



写真：外大フェスタ

INDEX

特集1： インターンシップ座談会

特集2： 「通訳」として活躍する在学生の声！

特集3： ライブラリーの国際交流コーナー

7 チャペル通信

8 9 大学情報

10 同窓会だより・保護者会だより

11 寄付事業のお礼と報告

インターンシップ科目

～参加者による座談会～

現代英語学科 3年

小林 七汰さん

実習先：ジョブネットワーク
センター（長崎労働局委託
若年者地域連携事業）

仕事をするうえでのビジネスマナーや責任感、自分で先を見据えた行動をすることが大事だと身に染みて感じました。



現代英語学科 2年

太田 泰我さん

実習先：社会福祉法人みのり会
（みのり会キッズ・コム、平山
友愛園）

職員の皆さんが意思疎通の難しい方とどのようにコミュニケーションをとっているのかわることができました。何事も“やってみないとわからない”ということを実感することができました。



国際コミュニケーション学科

韓国語専修 3年

築瀬 悠月さん

実習先：ホテルJALシティ長崎

自分にとってあまり興味がないと思っていた業種や職業でも、インターンシップに参加し、実際に現場で働くことによって自分の視野や就職先の選択の幅が広がりました。



◆実習先、実習内容について

築瀬

新地中華街にあるホテルJALシティ長崎で実習を行いました。

宿泊課、料飲課、ハウスキーピングを経験し、チェックイン・チェックアウトの模擬体験、お客様へのサービスやベッドメイキングに取り組みました。

リュ

実習先はあさひ日本語学校です。在留資格の内容など、留学生のサポートや日本語学校の業務に取り組みました。また、日本語教員として教材の作成や海外向けのオンライン授業も行いました。

太田

社会福祉法人みのり会のみの子会キッズ・コム、平山友愛園2事業所で実習しました。どちらも障がい者向けの施設で、みのり会キッズ・コムでは子ども達と接し、平山友愛園では大人の方の就労支援に取り組みました。就労支援は5つのグループに分かれて作業をし、私はクリーニング班として職員の方と同じような立場で作業に参加しました。アセスメントという、利用者の方の障がい状況やどのようなことをできるようにしてほしいかなどの話し

合いにも参加し、支援計画や作業での目標など職員の方と一緒に考えました。

小林

私はジョブネットワークセンターに実習に行きました。この企業は、地元就職を目指す若者のサポートや学生と企業を繋ぐ役割を担っています。実習では主に12月に開催されるNAGASAKIしごとみらい博の運営サポートを行いました。協力依頼のために企業への訪問同行や実行委員とのミーティング、ディスカッション、PR動画の作成サポートにも取り組みました。また、課題としてイベントの企画案を作成し、最終日には社員の方にプレゼンテーションを行いました。

真辺

レクサス長崎で5日間実習に取り組みました。実習内容はお客様のお出迎え、お茶出し、お見送りなどで、5日間を通して一連の動作がスムーズにできるようになることを目標としていました。実習期間中に新型車の発表もあり、車の準備などにも携わらせていただきました。他にも、下取りした車の車庫証明を取りに警察署への同行もしました。

小田切

私の実習先は株式会社スズキ自販長崎

です。2日目までは主にマナー研修中心に取り組みました。3日目からは訪問営業に同行し、実際に車を購入されたお客様へのメンテナンス確認を体験しました。



◆印象に残っていること

真辺

社員の方から言われたことがとても印象に残っています。

接客するうえで、きびきび動くことが社員の動きのベースとなっているように考えられていますが、レクサスは違いました。小笠原流礼法を取り入れ、びしっと動くよりも滑らかな動きを大切にされていました。普段の生活の中でレクサスに行く機会はなかったですが、ショールームでも走らず、お辞儀する際にもゆっくりと姿勢を戻すなど社員の方の動きを見て、滑らかに動く

2019年度入学者カリキュラムよりGaidaiプログラム科目が開講されました。これは、今までに獲得した知識やスキルを統合し、活用することによってコミュニケーション能力、問題解決力、実践力、チームワーク、リーダーシップなど現代社会において必要とされる能力を涵養することを目的としたもので、インターンシップ科目もGaidaiプログラム科目のひとつとして位置づけられています。

本年度は39事業所へ、のべ90名を派遣しました。

5日間の現場実習を終えた学生たちにインターンシップ実習について語り合ってもらいました。



現代英語学科 3年

真辺 麟太郎さん

実習先：長崎トヨペット株式会社（レクスス長崎）
普段、授業やアルバイトでは習わない礼法を学ぶことができました。
職場の雰囲気の良さを実際に現場で感じることができました。



現代英語学科 3年

小田切 克己さん

実習先：株式会社スズキ自販長崎
一度現場を見て実際に働くことによって、社会人になるイメージが一層鮮明になりました。また、企業説明会では見られなかった社員同士の関係性を感じることができました。

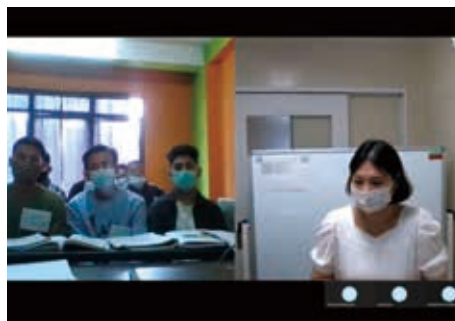


国際コミュニケーション学科

日本語専修 3年

リュ ヘランさん

実習先：あさひ日本語学校
希望している業界について深く知ることができました。また、基本的なビジネスマナーやコミュニケーション能力を身につけました。



こののっかさを知りました。

リュ

日本語教員を目指していますが、今回の実習を通して今の自分に足りないものがわかりました。また、学習者がどのような気持ちで勉強しているかも感じることができました。軽い気持ちで教えるのはダメだなと強く思い、もっと頑張らないといけないこともわかりました。自分を信じて受け入れようと思ってくれている学習者がいることを目の当たりにし、授業時間の10倍以上かけて準備する必要があると感じました。

◆実習で学んだことをどう活かすか

小田切

実習前は笑顔が苦手でした。不愛想な印象を相手に抱かれることが多く、実習中に社員の方に笑顔が足りないことを指摘されました。就職活動において第一印象が大事だと感じたため、笑顔や清潔感を意識して今後過ごしていきたいと思うようになりました。

真辺

5日間レクススで研修した中で、社員同士の距離感が近いことに気づきました。先輩・後輩関係なく、わからない

ことがあればすぐに聞く姿が印象的でした。私はあまりわからないことを人に聞くタイプではないのですが、小さなことを意識するだけで仲が深まることを知りました。今後は実践していきたいと思います。

小林

自分で先のことを考えて行動することが思っていたよりも大切だと感じました。自分に任された仕事はもちろんですが、周りを見てコピーを取ったり、空いた時間に自分の意見をまとめたりなど、人が何を求めているか、自分がどう行動したらよいかを考えて動けるようになりたいと感じるようになりました。

太田

支援計画を自分なりに考え、実践し、支援を行いました。考えていたことを実践する中でうまくいったり、いかなかったりと苦戦することが多かったです。実習を通して、考えるだけではなく、何でも積極的にチャレンジしていこうと思うようになりました。

リュ

日本の会社で働くことや社会人になる

にはコミュニケーション能力が大事と言われていて、今の自分はすでにできていると思っていました。しかし実習を通して、笑顔で話す、相手の気持ちまでコミュニケーション能力で見えることを知りました。今後は自分の生活や能力に合った仕事を見つけられるよう就職活動を頑張りたいと思います。

築瀬

今まで取り組んできたアルバイトは無駄ではないと実感しました。今回の実習中、飲食店で経験を活かすことができ、社員の方にも活かしていると言葉をいただきました。今までやってきたことが身についていると自信に繋がりました。これからの就職活動の励みになり、頑張る意欲が湧きました。



「通訳」として活躍する!

2021年「通訳者」として活動した在学生の声を紹介します

被爆76周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

毎年8月9日は、「長崎を最後の被爆地に」との祈りを胸に、長崎市内の平和公園では長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われ、被爆76周年を迎える本年も63の国と3の国際機関の代表の方々の方々の参列の元、式典が執り行われました。

本学では、平成27（2015）年2月に「長崎市と学校法人長崎学院長崎外国語大学との包括連携に関する協定」を締結しており、毎年、長崎市の依頼を受け同式典に学生を派遣し、外国人来賓の出迎えや式典終了後の見送りの他、原爆落下中心地での献花や原爆資料館の訪問など、各大使に随行し通訳業務に携わっています。

今年は、6名の学生が通訳業務に携わり、普段では味わうことのない緊張感の元、通訳業務に果敢にチャレンジし、あらためて長崎の歴史を知り、平和や言葉の大切さ、ホスピタリティなど多くのことを学びました。

参加した学生の感想を一部ご紹介します。今後も、多くの学生がこの通訳業務にチャレンジしてくれることを願っています。

<参加者の声>

▶2年生と3年生でこの通訳業務の経験をさせていただき、とても貴重な時間であり、今年もまた経験したいと思いました。さらに、英語を活かして仕事をしたいと思い今年も参加しました。(4年生/3回目)

▶この随行業務は、スケジュール管理をし、通訳をするというだけの単純なものではなく、得るものが本当に多いお仕事で達成感や充実感、また、参加してよかったなと感じます。来年が学生のうちに参加できる最後の年になると思うので、また参加したいと思います。(3年生/3回目)

▶初参加ということもあり、緊張もはかりしれないもので必要最低限の会話しか出来ませんでした。こんな貴重な経験が出来るこの恵まれた環境に感謝しています。1年生、2年生の頃から参加していれば良かったと思いました。これからもっとコミュニケーションスキルを身につけて来年もう一度参加したいです。(3年生/初参加)

▶英語は自信がある訳では無いが、この機会に挑戦してみたいと思いました。長崎についてほとんど知識がなかったため、観光地として紹介されている場所を調べたり、それに関わる英語表現も勉強しました。(2年生/初参加)



NASAアジア支部アジア担当代表 Garvey McIntosh (ガーヴィー マッキントッシュ) 氏 講演会

Garvey McIntosh氏の名前を目にし、懐かしく思い出される卒業生の皆さんも多いことでしょう。McIntosh氏は、かつて本学（短期大学）で英語の教員として勤務後、現在は、NASAアジア支部アジア代表として日本に赴任されています。10月9日（土）に開催された本学主催の公開講座で講演をしていただくにあたり、思い出の地・長崎で、一人でも多くの学生や子供たちにNASAの宇宙開発について知ってほしいとのたつての願いで、10月6日（水）から10月8日（金）にかけて、本学他、長崎市、時津町、諫早市にある小・中・高校など全7校を巡回して講演をされました。その際、現代英語学科3年生と4年生より7名の学生が通訳を務め、また学内の講演会では2名の学生がホールに常設の同時通訳システムとブースを使用し同時通訳にチャレンジしました。



参加した学生からは、

▶失敗を恐れずに挑戦し続けることと、座学で学んだ英語を実践を通して活用することが、自分の英語力をさらに上達させるための必要不可欠なプロセスである事を学びました。

▶大学で学んだ語学力を試験などという形以外でリアルに生かせるので凄い達成感が得られます。

▶通訳の仕事は、ただ英語の訳をするだけでなく、日本語に訳する時の言葉選びもとても大切だなと感じました。

▶通訳する前に沢山の情報を集めることが大事なこと、通訳する人の情報、会社、その人の背景、プロジェクト全て調べておく必要があることを学びました。次の通訳をする時には、しっかり準備して、今回の悔しさを活かしたいです。などの感想が寄せられました。さらなる挑戦と活躍に期待したいと思います。



東京2020オリンピックボランティア

2021年夏、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。会期が1年延期になっただけでなく、コロナ禍で無観客での開催となり、会場での直接の応援はできませんでしたが、その陰では数多くのボランティアスタッフが活躍し大会を支えてくださっていたことは、皆さまもご存じのことでしょう。そのボランティアスタッフとして本学学生が参加しましたので、代表として現代英語学科3年生の宮田萌花さんと2年生の戸上翔斗さんに感想を伺いました。

参加しようと思ったきっかけは？

(宮田) 英語を使ったボランティアに参加したいと思っていて、神田外語大学が主催している通訳ボランティアセミナーに参加していたため、東京オリンピックボランティアで活かすチャンスだと思って申し込みました！

(戸上) 高校時代にオリンピックを目指していたため、出場という形では叶えられなかったが、なんらかの形でオリンピックに携わりたかったからです。

ボランティアスタッフとしてどのような業務に従事しましたか？

(宮田) 警備、荷物検査、通訳の業務を行いました。聖火リレーでは、主に警備の仕事で、青海アーバンスポーツパークという会場では荷物検査と通訳をしました。

(戸上) 会場に入る時に通るゲートに手荷物検査場があり、そこに来た外国人の対応（通訳）をしました。

参加してみて感じたことは？

(宮田) 通訳は、初めての経験ですごくプレッシャーを感じて緊張しましたが、やるしかないという気持ちで乗り越えつつ、通訳が終わった後は達成感をすごく感じました。

(戸上) 多くの外国人と会話することが楽しかったです。

「通訳」をするうえで、特に気をつけたことはありますか？

(宮田) 焦らずに落ち着いて通訳することです。

(戸上) 笑顔！ 笑顔で話しかけると笑顔で返してくれます。

参加したことで自分自身に変化や気づきがありましたか？

(宮田) 自分から動く行動面と精神面では強くなり、自分自身は成長したと思います。通訳をする責任感を感じつつ楽しさも感じました。

(戸上) 自信がついた部分とここを改善すればもっとレベルアップできる部分を見つけることができました。

これから通訳業務をやってみようと思っている学生に一言！

(宮田) 怖いという気持ちもあると思いますが、飛び込んでみて気づくことは沢山あると思います。自分にブレーキをかけずに、通訳だけでなく色々なことに挑戦していくことで、自分の可能性を広げていくことが出来ます。私もまだまだ未熟なので、何事にも挑戦して一緒に頑張りましょう！私も次のチャンスに乗れるように常に英語を磨いておきます。

(戸上) ビビるな！恥を捨てろ！人の目を気にするな！その一歩の勇気が自分を大いに成長させてくれます。

宮田さん、戸上さん、ありがとうございました。自国開催のオリンピックで活躍できる経験はこの先何度もあることではありません。この経験を生かし、さらなる活躍をされることを期待しています！

「挑戦の先にある学び」

原田依子 現代英語学科教授

長崎外国語大学では、通訳講座を開講しており、プロとしての通訳技能に限定せず、日ごろの留学生との交流や観光の街・長崎でも応用できる英語表現・通訳技能を、実践を通して学んでいます。

また学ぶだけでなく、日ごろの学習成果を実践する場として、入学式や短期留学プログラムの修了式での学生による英語同時通訳、平和祈念式典への国内外からの来賓の方への通訳ガイド、名古屋外国語大学での学生通訳コンテストの出場など、様々な機会を準備しており、学生たちは日ごろの学習の成果を確認するだけでなく、教室だけでは経験できない様々なことを、実践を通して学んでいます。今年も東京オリンピックもあり、本学の学生にもオリンピックボランティアに進んで参加した学生がいて、積極的な姿勢は心強い限りです。

通訳というと、難しく大変という印象を持たれがちですが、難しいことに敢えて挑戦するからこそ、身につけられる知識や技能、また達成感や充実感があります。4年間の間に、たくさんのことを学び、また様々な経験を通して、多くの学生に外大生にふさわしい英語力を身につけてもらいたいと思っています。

ライブラリーの国際交流コーナー

Japan Studies (日本研究)に関する本／日本について外国語で書かれた本

10月の公開講座で「長崎ハタの図像学」の講師を担当された、マラ教授より、フランスで出版された、『Cerfs-volants du Japon: à la croisée des arts』という、日本の凧に関する学術研究書をライブラリーに御寄贈いただきました。マラ教授の論文も掲載されています。

2018年にパリで開催された、「Japanese Kites: At the Crossroads of Arts」という国際学会での研究発表をもとにまとめられた本で、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により出版が延期され、ようやく今年の8月に出版されたものです。美術の側面からだけでなく、社会学や教育学、民俗学など多角的な研究成果が掲載されています。

凧に関する美しい図版が数多く掲載されている本ですので、フランス語が読める方はもちろん、そうでない方でもページをめくって楽しめるかと思えます。

「日本の凧」だけにテーマを絞っても、海外の研究者がこんなに研究されているのかと驚かれるかもしれません。マラ教授によると、フランスで初めて出版された、「日本の凧」に関するアカデミックな本だということです。

ライブラリーの国際交流コーナーでご覧いただくことができます。学内限定でマラ教授の執筆部分の日本語翻訳を閲覧可能にしています。

ライブラリーの国際交流コーナーは、本学ライブラリーの中の特色ある書架のひとつで、きれいなアールの壁面書架に日本について外国語で書かれた本を集めたコーナーです。

日本の歴史や社会についての本、茶道に剣道に相撲、歌舞伎に浮世絵、アニメにマンガ、着物に寿司等々、多方面からの日本文化についての本、日本文学の各国語翻訳、例えば、源氏物語絵巻のフランス語訳、英訳された万葉集、井上ひさしの戯曲のフランス語対訳とドイツ語対訳、村上春樹に至っては、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語と様々な言語で翻訳された本が並んでいます。長崎の原爆に関する洋書など平和学習に使用される本の棚や、日本語学習用の本の棚もあります。日本語学習用の書架にあるのは、主に日本語を学ぶ留学生に向けた本ですが、日本語教師を目指す学生も利用しています。

壁面に固定された書架で棚板を動かさないため、日本十進分類法の分類で配架する際に大きさの異なる本をうまく

収めるのは難しいところもありますが、ライブラリー職員の地道な工夫の継続により、書架に差し込み表示を増やし、その表示にはふりがな付きの日本語と分類番号を記し、英語版の日本十進分類表も書架に貼付して、探しやすくなるようにしています。

本の表紙を見せる陳列も増やしており、装丁の美しい本が多いので、目にも楽しいコーナーです。ライブラリー内では人気のフォトスポットにもなっています。

マルチメディアライブラリー事務局 別所佐和子



(表紙の写真)



先入観を持つ自分を知ること

たつみ あきこ
辰己 明子 准教授



イエス様の言葉を通して、先入観について考えてみたいと思います。

なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。……まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。

(マタイによる福音書7章3-5節)

この梁（うつばり）とは、様々に解釈できます。私たちの先入観もその一つであるといえます。先入観とは思い込みを意味します。先入観は、生まれ育った環境、時代、教育、常識などにより形成されるため、私たちは無自覚に先入観を自分の内に取り入れることとなります。そのため、先入観の影響は大きく、無意識に先入観を判断基準として、私たちは物事や人を判断します。

私自身、この先入観により、多くの事を判断してきました。私自身の内にある先入観を強く実感したのは、アメリカで留学をしている時でした。大学と大学院では心理学を専攻し学んでおりました。その時に出会った先生方に共通することは、「当たり前とされていること、常識は本当に正しいのか」と、よく授業で学生に向けて問われる先生方でした。振り返ると、私が当時、大学で授業を受けていた先生方は、当たり前とされる事や常識は時代により異なること、また、文化により常識が異なることを踏まえた上で、「だからこそ自分の価値観や常識で物事を見てはいけない。自分の価値観や常識で物事を捉えようと、全体を見ることはできない」と、授業の中で話しておられました。私にとっては本当に衝撃的でした。日本での学校生活で、そのようなことを言われる先生に出会ったことがありませんでした。同時に、私自身が先入観を持って、アメリカでの留学生活を送っていたことを気づかされた時でもありました。日本の価値観や常識に当てはめて、アメリカでの留学生活を捉えていたため、「なんでアメリカってこうなの」と、自分以外に原因を見て不満する私に気づくことができました。原因は自分以外ではなく、私自身だということです。私が意識することなく、自分の価値観や常識に当てはめ、先入観により「これは、こうでなければいけない」で物事を捉らえていたことに気づくことができたことは、私の人生にとり大きな財産です。

私たちが生きる現代とは、グローバル化が進む中、コロナ感染という世界的問題の発生により、これまでの常識が通用しない時代です。このような時だからこそ、イエス様の説かれる梁を通して、自分の内にどのような梁、先入観があるのかを見つめることは、自分の内面を深く掘り下げ、自分を知る大切な時であると思います。

(2020年11月11日チャペルアワー奨励から)

学校見学会を開催しました

2021年度の学校見学会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年同様規模を縮小し、6月から9月にかけて計8回実施しました。

1日30名限定という人数制限に加え、開催期間中に緊急事態宣言が発出されるなど、今年度も新型コロナウイルスの猛威に見舞われた中での開催となりましたが、全8回で165名の高校生が参加してくれました。

体験授業や留学体験談、キャンパスツアーなど、短い時間ではありましたが、県外への移動が制限される中で直接キャンパスを見て、教職員や学生と話ができたことは、高校生にとっても本学にとっても貴重な時間となりました。

(文責：入試広報課 神原翔)



アンペロス寮生に物資の提供をいただきました

一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき様より、アンペロス寮の寮生に対し、カップ麺1,800個とお米200袋（1袋3キロ）、ゆでぼし大根200袋の提供がありました。提供された寮生は、カップ麺12個入りの箱を手にして「こんなにたくさん！ありがとうございます！」「とても助かります！栄養つけて頑張ります！」と突然のプレゼントに大喜びでした。勉学に励んでいる学生たちをご支援くださりありがとうございます。重ねて、一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき様のご厚意に深く感謝申し上げます。



(文責：アンペロス寮 安田 正次)

同窓会と保護者会より「通訳ボランティア育成セミナー」の補助金が支給されました

2020年度 第8回通訳ボランティア育成セミナー参加に伴う補助金が、同窓会と保護者会様より11名の学生に対し合計66,000円（1名あたり同窓会3,000円・保護者会3,000円）の補助金が支給されました。

「通訳ボランティア育成セミナー」は、全国7つの外国語大学が専門性を活かし、各種スポーツ・国際イベントでの学生の通訳ボランティアを推進しています。

昨年は9/2～9/4に、コロナ禍の影響もありオンラインで開催されました。

(文責：総務課 松尾 博則)

本学学生が「第8回GPプレゼンテーション大会」で優秀賞に選ばれました

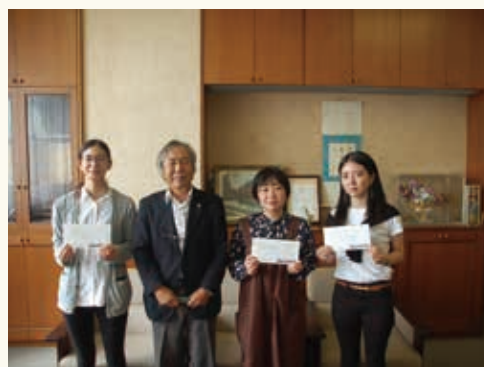
2021年7月4日（日）に長崎大学で行われた「SMALLACTIONS～SDGs×私たちから～」をテーマとする第8回GPプレゼンテーション大会で、本学3年生の一ノ瀬龍之介さんが優秀賞に選ばれました。一ノ瀬さんがプレゼンテーションに選んだSDGsの目標は「安全な水とトイレを世界中に」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」の3つ。プレゼンテーション本選の緊張感の中、学生の内からできることを熱く語っての受賞となりました。



本学学生が「第3回長崎総合科学大学ビジネスプランコンテスト」でグランプリ賞に選ばれました

9月25日に「第3回長崎総合科学大学ビジネスプランコンテスト」がオンラインで開催され、本学より参加したクッキー3姉妹（写真左から川原怜那さん・和田希さん・前原美咲さん）がグランプリ賞と九州教員賞のダブル受賞という快挙を成し遂げました。

テーマは「空き家をコミュニティで再生」で、審査員からは「さすが女性ならではのホスピタリティあふれるビジネスプランでした。」とのコメントをいただいています。



本学学生が韓国留学をスタートさせました【海外派遣留学プログラム】

本学の留学プログラムに参加する学生44名が8月に韓国に出発しました。学生たちは、これから半年～1年間の留学を経験します。うち6名は日韓共同の国費奨学金、27名は日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度の奨学金を受給しています。

コロナ禍での派遣となったため、9月の新学期開始に間に合うよう、8月中旬に出国し、2週間の自主隔離を経て、それぞれの協定校で留学生生活をスタートさせました。

現地での授業や生活を通して、生きた韓国語を吸収しすでに有意義な時間を過ごしているようです。また、本学に留学していた韓国人留学生と韓国で再会できた学生もいました。

学生たちの留学生活が充実したものになるよう、教職員一丸となって見守っていきたいと思います。



2021.7.21 留学許可書授与式の様子

（文責：国際交流センター事務局）

● 同窓会だより ●



「私のたまたま人生」 かぜさぶろう登場

長崎外国語短期大学 外国語科 商学コース
1969年卒業 二部生 秋山直明

私は、「あきやまかぜさぶろう」のペンネームで児童作家をしています。在学当時は、学園闘争の真っ只中、大学も学生も時代に翻弄されていました。

私は、絵が好きだったこともあり、絵画同好会を作り、二部生と一部生と一緒に日曜日にはスケッチ旅行などをして、勉学半分、仕事半分、同好会と充実した学生生活でした。短大卒業後、東京で、公務員として、働き始めましたが、短大で始めた、絵画が、東京では、どのレベルかと思い、二科展に応募しました。初出品した時、その時の二科会会長が東郷青児画伯で、たまたま「今年は、初出品者から、特選を出す。」と決めていたそうです。そういう訳で、私が特選をいただきました。それから、スペイン派遣など、数々の賞を受賞し、その後、プロの画家を目指そうと、公務員を退職し、画業に専念するつもりでしたが、絵だけでは、食べていけず物流会社で、アルバイトをしていました。その物流会社が、たまたま、アパレルの倉庫で、ある時、私が絵を描いていると聞いたらしく女性用のシャツに、デザインをやらぬかと依頼があり、数点デザインをしたところ、そのシャツが、100万着のヒットとなり、その後、イギリスの大使館から、イギリスの地下鉄のUNDERGROUND マークをブランド化したいとの事で、デザインした所、そのシャツをジャニーズの「嵐」が着てTVに出た事も、幸いして全国でヒットしました。アルバイトから取締役になっていました。が、時がバブル時代、会社の海外投資が原因で倒産してしまいました。そして、暇な私が、子供を幼稚園の送り迎えをしていた時に、絵が苦手だと気づき、絵が上手に描ける指導をした所、苦手意識がなくなり、これを本にしようと思い、原稿を講談社に持ち込み、発刊していただくことになりました。その時、瀬戸内寂聴を世に出した、有名な営業の方が、たまたま私の本の担当になり、100万部のベストセラーになりました。それから、毎年5冊は発刊し、中国、台湾、韓国でも翻訳されて、また、お絵かきゲームソフトとして、ヨーロッパ、アメリカで発売されたりと、現在まで作家活動をやっています。学生の皆様、これから、自分の思い通りにならない時があると思います。前向きにチャレンジし続けていると、きっといい結果が来る時があると思っています。



卒業生で次号に載せてみたい方は、ご連絡下さい。 095-840-2010

● 保護者会だより ●

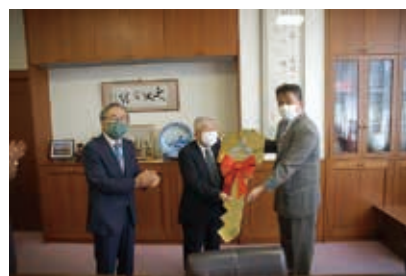
各位

秋空が高く澄み渡り、秋の訪れを感じる季節となりました。皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界的に流行している新型コロナウイルス感染症により、令和2年度、3年度と保護者会としましても、以前の様な活動もままならず、学園祭をはじめサークル活動支援等々もできずにいます。そんな折に、既存の外大バスが老朽化していることを知り、理事会で協議させていただいたうえで、保護者の皆様から、お預かりさせていただいております会費をバスの購入費に充てさせて貰いました。

これからの学生の安全に寄与できましたこと、保護者会会長としてこの場をお借りしまして、ご報告すると共にお礼の挨拶に代えさせていただきます。今後とも、引き続き保護者会活動へのご協力をお願い致します。

長崎外国語大学保護者会
会長 吉野 源次郎



スクールバス贈呈式
2021年9月18日(土)

教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は令和3年9月末現在で832件、39,444,000円（内、令和3年4月1日～令和3年9月30日：56件8,769,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、令和3年度上期は9月に長崎外国語大学保護者会様からスクールバスを寄贈いただきました。今後の学生の通学・イベント等に大切に利用させていただきます。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。



寄付者ご芳名一覧 令和3年4月～令和3年9月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

(敬称略)

個人の部

一宮 啓祥	片山 伊勢雄	山王 洋介	田端 安範	原田 澄	前田 英輝	宮崎 昭義
岩田 耕作	川原 仁幸	竹内 猛	道崎 満寿男	原野 浩二	松尾 博則	森脇 浩
江口 克彦	佐藤 安里紗	田島 大和	長崎外国語大学保護者会	平下 美登里	松澤 善裕	山下 信輔
尾上 修二	佐藤 辰巳	田中 希美	中田 信義	平田 康子	水元 啓二郎	山本 哲哉

法人の部

株式会社 アイコック	有限会社 九豊工業	株式会社 長崎消毒社	株式会社 松田久花園
石田コピーセンター 株式会社	株式会社 釘山工務店	一般財団法人 長崎YMCA	
株式会社 一広	株式会社 クリーン・マット	株式会社 西九州エレベーターサービス	
有限会社 大谷書店	株式会社 松栄設備	林兼石油 株式会社	
有限会社 小田警備保障	長崎外国語大学ビジネス 株式会社	松尾建設 株式会社	

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は令和3年9月末現在で242件、12,594,000円（内、令和3年4月1日～令和3年9月30日：34件、423,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、令和3年度上期は皆様から賜りました寄付の内から1,260,000円を新長崎学研究センター研究叢書発刊費用に使用させていただきました。

今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。



寄付者ご芳名一覧 令和3年4月～令和3年9月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

(敬称略)

個人の部

粟屋 曠	片山 伊勢雄	柴田 政男	田中 希美	中田 信義	松尾 博則
尾上 修二	小道 隆	竹内 猛	田端 安範	野中 誠司	水元 啓二郎
川原 仁幸	佐藤 辰巳	田島 大和	道崎 満寿男	原野 浩二	

法人の部

株式会社 アイコック	株式会社 クリーン・マット	株式会社 セキュリティーハウスセント
アダチ産業 株式会社	株式会社 サープネット	株式会社 チョープロ
石田コピーセンター 株式会社	シンシア	一般財団法人 長崎YMCA

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注)：寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

地方自治体が条例指定している場合は、住民税についても寄付金控除が適用されます。

※各自治体の条例指定の有無につきましては、各自治体によって異なりますので、ホームページ等でご確認くださいるか、直接自治体へお問い合わせください。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要ですので、ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。
法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：森脇・前田)
Tel 095-840-2003 (法人財務課直通) Email keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



浴衣DAY

7月29日(木)、本学で浴衣DAYが開催されました。
当日は学生が日本の風物詩ともいえる浴衣や甚平を着て、楽しみました。
今般のコロナ禍の影響で例年のようなイベントとはなりませんでした
が、限られた中でも参加学生が夏を感じ、楽しむことができました。